

報告日 令和7年10月20日

報告回次 3日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	村山市			代表者名	志布隆夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	政策推進課	連絡先電話番号	0237-48-8212
担当者役職	活性化施設係長	担当者氏名	小玉隆宣	連絡先E-mail	
住所	995-0032 山形県村山市中央1-3-6				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	デジタル系職業体験事業
概要	本事業は、デジタル分野に関心を有する小中学生を対象として、プログラミング等の職業体験を実施するものです。体験を通じて、子どもたちのデジタル技術への理解と興味を深めるとともに、将来的な地域のデジタル人材発掘・育成につなげることを目的とし、この発掘・育成プログラムの企画において手法やプログラム内容について助言をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月19日	支援・助言(実地)	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420

2-2.

派遣場所	会場名	村山市にぎわい創造活性化施設 Link MURAYAMA	最寄駅	JR村山駅
	所在地	山形県村山市楯岡荒町2-1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩7分

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	齋藤 博美
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	前回に引き続き、円滑に当日の準備・設営等を進めていただきました。また、子どもたちの視点に立ちながら丁寧に技術指導に取り組んでいただき、指導内容については、一人一人のレベルに合わせた内容で、子どもたちの可能性を上手く引き出しながら、的確かつユーモアを交えて指導いただき、アンケート結果も「満足した」「また学びたい」という回答が多かったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	22人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	1	20	0
			その他(学生など)
			1

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	児童・生徒が学校でプログラミングを学ぶ機会がまだまだ少ないと感じている。学校以外でも学びの機会が非常に少ないことから、当施設で実施することで気軽に参加してもらい、プログラミングに関する基礎知識の習得と、実戦経験を積んでほしいと思っている。興味を持っている児童・生徒が一定数いるにもかかわらず、近隣に講師を勤められそうな人材がいなかったことが課題と捉えており、本制度を活用した。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	小中学生にプログラミングの知識を習得してもらうとともに、実践経験を積んでもらうことで、達成感を得てもらうことを目標とする。自己の将来の可能性を広げ選択肢が増えることが、参加児童・生徒の幸せにつながる。最終目標の時期、令和7年10月。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	本事業に係る運営全般・講師・技術指導・機材提供など	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	午前の部は、プログラミングに関し初心者でも取り組みやすい「マイクラフト」を使用し教材づくりに取り組み、午後の部は、プログラミング中級者向けに「スクラッチ」を使用し、午前同様に教材づくりに取り組んだ。 その結果、ゲーム感覚でプログラミングを体験・学習したことで、デジタル分野への裾野拡大と将来の職業選択肢を広げるきっかけづくりを提供することができた。また、保護者（市民）等に対しても本市の児童・生徒を対象としたデジタル分野における取組について理解を深めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	・小中学生を対象としたマイクラフト及びスクラッチの授業で使用する教材	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 プログラミングの経験について、「初めて」又は「少しある」という回答が多く、間口を広げるいい機会になったと感じた。また、「また学びたい」という回答も非常に多かったため、今年度中に再度取り組めるように検討したい。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
	今回の経験を活かし、また、参加者からの要望に答えるため再度年度内に取り組めるように検討する。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	より多くの子どもたちにデジタルの仕事を体験してもらうことで、将来の職業選択肢を増やしたい。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

